

環境経営レポート



(対象期間:2023年4月～2024年3月)

作成日:2024年 6月 10日

株式会社 西村建設

目 次

1. 取組の対象組織・活動
2. 環境経営方針
3. 実施体制図
4. 環境経営目標
5. 環境経営目標の実績
6. 環境経営計画の取組結果とその評価
7. 次年度の環境経営計画
8. 環境関連法規等の順守状況の確認
及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 取組の対象組織・活動

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 西村建設
代表取締役 西村 裕

(2) 所在地

本 社 徳島県三好市山城町大川持523-4
資材倉庫 徳島県三好市山城町下川字香川原1611-2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 今村 貞義 TEL : 0883-86-1030
連絡担当者 今村 貞義 FAX : 0883-86-2001

(4) 事業内容

土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、ほ装工事業、
しゅんせつ工事業、塗装工事業、さく井工事業、水道施設工事業、解体工事業
産業廃棄物収集運搬業(自社排出運搬のみ)

(5) 事業の規模

資本金 2,420 万円
完成工事高 690 百万円 (2023年4月～2024年3月)
主要工事件数 74 件

	本社	資材倉庫
従業員	25 名	—
延べ床面積	459 m ²	900 m ²

(6) 運用年度

4月～ 3月

□認証・登録の対象組織・活動

・認証登録範囲:

上記、全組織全活動を対象とする

・環境経営レポートの対象期間 2023 年 4 月 ～ 2024 年 3 月

・環境経営レポートの発行日 2024 年 6 月 10 日

2. 環境経営方針

株式会社 西村建設

環境経営方針

<基本理念>

株式会社 西村建設は、皆様の夢を実現するため生活環境を創造し、活力有る社会経済の発展を支え、豊かな国土と自然環境を守り、高品質で安全な製品を提供するため日々努力しております。また、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、建設業の事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組めます。

<行動計画>

1. 具体的に次のことに取り組めます。
 - ① 電力・自動車・重機等燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ② 建設資材の省資源、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)の推進
 - ③ 水資源の節水
 - ④ 人材確保と育成、技術の継承に努める
 - ⑤ 環境に配慮した施工の推進
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

環境経営方針は、社内外へ公表いたします。

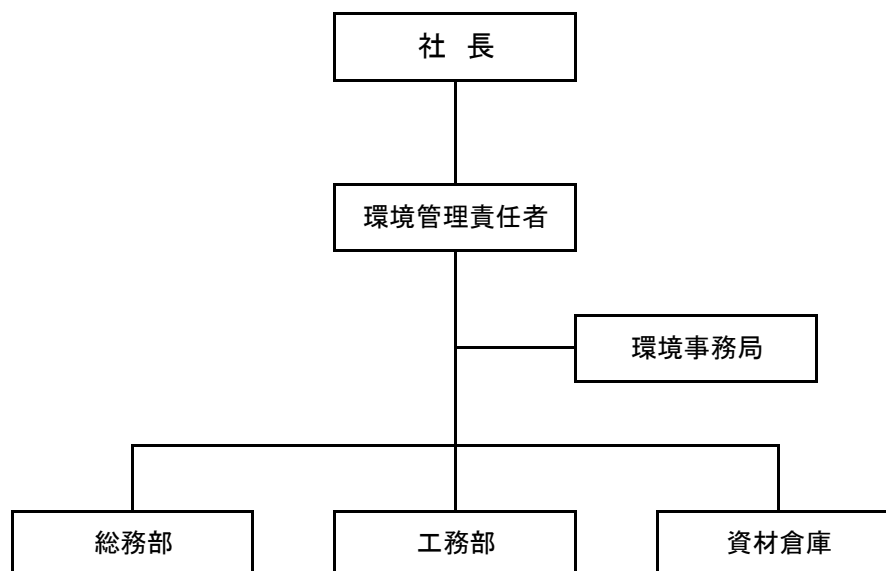
制定日:2012 年 11月 1日

改定日:2020 年 6月 1日

株式会社 西村建設

代表取締役 西村 裕

3. 実施体制図



	役割・責任・権限の周知
代表者 (西村 裕)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者 (今村貞義)	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境法規制等順守チェックリストを承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局 (今村貞義)	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営の実績集計 ・環境法規制等順守チェックリストの作成 ・環境法規制等順守チェックリストに基づく順守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
総務部(今村貞義) 工務部(川原利夫)	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標

○環境経営目標(中長期:2020年度～2023年度)

(事務所)

目的	単位	基準年	目 標			
		2019年度	2020年度 -1.0%	2021年度 -1.5%	2022年度 -2.0%	2023年度 -2.5%
二酸化炭素の削減	kg-CO ₂	119164	117972	117377	116781	116185
電力の使用量の削減	kWh	94962	94012	93538	93063	92588
燃料の使用量の削減	L	28685	28398	28255	28111	27968
水使用量の削減	m ³	795	787	783	779	775
一般廃棄物の削減	t	1.234	1.222	1.215	1.209	1.203
新規雇用	人	—	1	1	1	1

* 1. 事務所電力のCO₂発生量については、
 (株)藤田商店の調整後実排出係数(2018年度実績) 0.539 (kg-CO₂/kWh) を使用した。

(現場)

目的	単位	基準年	目 標			
		2019年度	2020年度 -1.0%	2021年度 -1.5%	2022年度 -2.0%	2023年度 -2.5%
二酸化炭素の削減	kg-CO ₂	179648	177852	176953	176055	175157
電力の使用量の削減	kWh	892	883	879	874	870
燃料の使用量の削減	L	70238	69536	69184	68833	68482
産業廃棄物排出量削減 (指定副産物再資源化率)	%	—	100	100	100	100
環境配慮施工	%	—	100	100	100	100
力量向上教育訓練	回	—	2	2	2	2

* 1. 現場電力のCO₂発生量については、
 四国電力(株)の調整後実排出係数(2018年度実績) 0.569 (kg-CO₂/kWh) を使用した。

* 2. 環境配慮施工

- ・低騒音・排ガス規制型建設機械の使用
- ・県産木材の使用
- ・工期短縮の為の実施工程表作成とその達成

* 3. 今年度は2023年度の数値を適用する。

○環境経営目標(中長期:2024年度～2027年度)

(事務所)

目 的	単位	基準年	目 標			
		2019年度	2024年度 -3.0%	2025年度 -3.5%	2026年度 -4.0%	2027年度 -4.5%
二酸化炭素の削減	kg-CO ₂	119164	115589	114993	114397	114993
電力の使用量の削減	kWh	94962	92113	91638	91164	91638
燃料の使用量の削減	L	28685	27824	27681	27538	27681
水使用量の削減	m ³	795	771	767	763	767
一般廃棄物の削減	t	1.234	1.197	1.191	1.185	1.191
新規雇用	人	—	1	1	1	1

* 1. 事務所電力のCO₂発生量については、
 (株)藤田商店の調整後実排出係数(2018年度実績) 0.539 (kg-CO₂/kWh) を使用した。

(現場)

目的	単位	基準年	目 標			
		2019年度	2024年度 -3.0%	2025年度 -3.5%	2026年度 -4.0%	2027年度 -4.5%
二酸化炭素の削減	kg-CO ₂	179648	174259	173360	172462	171564
電力の使用量の削減	kWh	892	865	861	856	852
燃料の使用量の削減	L	70238	68131	67780	67428	67077
産業廃棄物排出量削減 (指定副産物再資源化率)	%	—	100	100	100	100
環境配慮施工	%	—	100	100	100	100
力量向上教育訓練	回	—	2	2	2	2

* 1. 現場電力のCO₂発生量については、
 四国電力(株)の調整後実排出係数(2018年度実績) 0.569 (kg-CO₂/kWh) を使用した。

* 2. 環境配慮施工

- ・低騒音・排ガス規制型建設機械の使用
- ・県産木材の使用
- ・工期短縮の為の実施工程表作成とその達成

5. 環境経営目標の実績

○環境経営目標実績結果と評価 (2023.4.1～2024.3.31)

(事務所)

目 的	単位	基準(2019年度)	目標	実績	達成率	評価
二酸化炭素の削減 *1	kg-CO ₂	119,164	116,185	119,590	97%	○
電力の使用量の削減	kWh	94,962	92,588	114,838	81%	△
燃料の使用量の削減	L	28,685	27,968	26,876	104%	○
水使用量の削減	m ³	795	775	38	2040%	○
一般廃棄物の削減	t	1.234	1.203	0.116	1040%	○
新規雇用	人	—	1	2	200%	○

* 1. 事務所電力のCO₂発生量については、
(株)藤田商店の調整後実排出係数(2018年度実績) 0.539 (kg-CO₂/kWh) を使用した。

(現場)

目 的	単位	基準(2019年度)	目標	実績	達成率	評価
二酸化炭素の削減 *1	kg-CO ₂	179,648	175,157	114,838	153%	○
電力の使用量の削減	kWh	892	119	5	2380%	○
燃料の使用量の削減	L	70,238	68,482	44,910	152%	○
産業廃棄物排出量削減 (特定資材廃棄物再資源化率)	%	—	100	100	100%	○
環境配慮施工	%	—	100	100	100%	○
力量向上教育訓練	回	—	2	5	150%	○

* 1. 現場電力のCO₂発生量については、
四国電力(株)の調整後実排出係数(2018年度実績) 0.569 (kg-CO₂/kWh) を使用した。

* 2. 環境配慮施工

- ・ 低騒音・排ガス規制型建設機械の使用
- ・ 県産木材の使用
- ・ 工期短縮の為の実施工程表作成

○ : 95%～100%
△ : 80%～95%
× : 80%未満

環境経営目標未達成項目に対するコメント

電力使用量の削減	事務所	夏場のエアコンの電力使用量が少し多かったために目標未達とはなったが、燃料使用量を控えることができたため、CO ₂ 排出量は概ね達成となった。
電力使用量の削減	現場	重機、ダンプの稼働する工種が少なかったことから燃料使用量が少なく目標達成となった。

6. 環境経営計画の取組結果とその評価

○ 環境経営計画／実績表（2023.4.1～2024.3.31）

（事務所）

	目的・目標	取組内容	責任者	確認	評価	今後への取組
二酸化炭素	電力の使用量の削減 (2.5%削減)	①不要な照明はこまめに消す ②待機電力を極力減らす ③エアコンの温度設定 (22℃～27℃)	今村貞義	○ ○ △	過度でない作業に適した室温設定を行った。 無駄な電力使用はない。	取り組みを継続する。
	ガソリン、軽油使用量の削減 (2.5%削減)	①エコドライブの実施 ②急発進、急停車をしない ③アイドリングストップを心がける	今村貞義	○ ○ ○	関係機関へは計画的な移動を心掛けた。 HV車の使用も大いに燃料使用減につながった。	
	灯油使用量の削減 (2.5%削減)	①事務所内室温管理	今村貞義	○	ファンヒーター及びストーブ使用時はエアコンは使用していない。	
用水量使	節水 (2.5%削減)	①日常的な節水励行	今村貞義	○	必要以上の使用はない。	取り組みを継続する。
廃棄物	一般廃棄物の削減 (2.5%削減)	①コピー時には事前確認する ②裏紙の利用 ③製品の長期使用	今村貞義	○ ○ ○	実施できている。	取り組みを継続する。
人材確保	新規雇用 (1人)	①ハローワークへの求人活動 ②HPの有効活用 ③知り合いへの声掛け	今村貞義	○ ○ ○	求人活動は年間を通じ実施している。 中途及び新規雇用ができた。	取り組みを継続する。

（現場）

	目的	取組内容	責任者	確認	評価	今後への取組
二酸化炭素	電力の使用量の削減 (2.5%削減)	①不要な照明はこまめに消す ②待機電力を極力減らす ③エアコンの温度設定 (22℃～27℃)	川原利夫	○ ○ △	作業に適した室温設定を行った。 無駄な電力使用はない。	取り組みを継続する。
	ガソリン、軽油使用量の削減 (2.5%削減)	①過剰積載をしない ②急発進、急停車をしない ③アイドリングストップを心がける ④サイクルタイムを考慮した運転	川原利夫	○ ○ ○	ダンプへの積込高さ表示。 ペイロードメーターの使用による過積載対策を行った。 KYKの実施時に適切な作業配置を検討し運用を行った。	
	灯油使用量の削減 (2.5%削減)	①事務所内室温管理 (22℃～27℃)	川原利夫	○	作業に適した室温設定を行った。ファンヒーター及びストーブ使用時はエアコンは使用していない。	
廃棄物	産業廃棄物排出量の削減(特定資材廃棄物再資源化率) (100%)	①マニフェスト伝票の適正管理 ②Co、As、木材の分別管理	川原利夫	○ ○	現場での分別と中間処理場での適切処理ができている。	取り組みを継続する。
環境配慮への取組	環境に配慮した施工を実施 (100%)	①低騒音・排ガス規制型建設機械の使用 ②県産木材の使用 ③工期短縮の為の実施工程表作成とその達成	川原利夫	○ ○ ○	発注者要求事項への対応は各現場周知され実施できている。 全ての工事では工期短縮は難しいが、特に負荷の大きい現場は短縮に努めている。 ICT施工の導入や週休二日制等作業環境の改善を進めていくことが作業の効率につながっている。	取り組みを継続する。
技術の継承	力量向上教育訓練 (2回、適宜)	①若者への技術継承教育訓練の実施 ②各種資格の取得	川原利夫	○ ○	各種技能講習、特別教育の受講を積極的に行っている。 技術技能継承のための現場での指導教育を行っている。	取り組みを継続する。

○:できている

△:まあまあできている

×:できていない

7. 次年度の環境経営計画

○ 環境経営計画（2023.4.1～2024.3.31）

（事務所）

	目的・目標	取組内容	責任者
二酸化炭素	電力の使用量の削減 (3.0%削減)	①不要な照明はこまめに消す ②待機電力を極力減らす ③エアコンの温度設定 (22℃～27℃)	今村貞義
	ガソリン、軽油使用量の削減 (3.0%削減)	①エコドライブの実施 ②急発進、急停車をしない ③アイドリングストップを心がける	今村貞義
	灯油使用量の削減 (3.0%削減)	①事務所内室温管理	今村貞義
水量使用	節水 (3.0%削減)	①日常的な節水励行	今村貞義
廃棄物	一般廃棄物の削減 (3.0%削減)	①コピー時には事前確認する ②裏紙の利用 ③製品の長期使用	今村貞義
人材確保	新規雇用 (1人)	①ハローワークへの求人活動 ②HPの有効活用 ③知り合いへの声掛け	今村貞義

（現場）

	目的	取組内容	責任者
二酸化炭素	電力の使用量の削減 (3.0%削減)	①不要な照明はこまめに消す ②待機電力を極力減らす ③エアコンの温度設定 (22℃～27℃)	川原利夫
	ガソリン、軽油使用量の削減 (3.0%削減)	①過剰積載をしない ②急発進、急停車をしない ③アイドリングストップを心がける ④サイクルタイムを考慮した運転	川原利夫
	灯油使用量の削減 (3.0%削減)	①事務所内室温管理 (22℃～27℃)	川原利夫
廃棄物	産業廃棄物排出量の削減(特定資材廃棄物再資源化率) (100%)	①マニフェスト伝票の適正管理 ②Co、As、木材の分別管理	川原利夫
環境取組配慮への	環境に配慮した施工を実施 (100%)	①低騒音・排ガス規制型建設機械の使用 ②県産木材の使用 ③工期短縮の為の実施工程表作成とその達成	川原利夫
技術の継承	力量向上教育訓練 (2回、適宜)	①若者への技術継承教育訓練の実施 ②各種資格の取得	川原利夫

8. 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境法規制等の遵守をチェックした結果、環境関連法規等への違反はありませんでした。関係当局よりの違反訴訟などの指摘も過去3年間ありませんでした。

法 規 制	遵守確認
廃棄物処理法	遵守
労働安全衛生法	遵守
建設リサイクル法	遵守
大気汚染防止法	遵守
騒音規制法	遵守
振動規制法	遵守
建築基準法	遵守
浄化槽法	遵守
三好市景観条例	遵守
徳島県環境基本条例	遵守

※ 環境法規制等順守チェックリストより抜粋

9. 代表者による全体の評価と見直し記録

項目	見直しの有無
環境経営方針	継続
環境経営目標	継続
環境経営計画	継続
実施体制	継続

総 括
本運用期間においては、事務所および現場の環境経営目標すべてにおいて概ね達成となった。 事務所においての目標であった新規雇用については、2名の雇用ができ、当社の課題である従業員の高齢化及び技術の継承の解決に繋がる取り組みとなった。 現場では環境配慮施工として、ICT施工の導入や週休二日制の導入による作業環境の改善を実施した。また、重機やダンプの最適な配置計画をすることにより、サイクルタイムの短縮につながった。これらにより、エネルギー使用量削減と工期短縮にも繋がる取り組みとなった。 「R3三土 栗山殿野線 三・山城白川 道路改良工事(3)」では、徳島県県土整備部より、令和5年度優良工事等表彰(県土整備部長賞)を受賞することができた。このことにより、関係者のモチベーションも上がっており、更なる積極的な取組につなげたい。